



国際ロータリー第2520地区 Rotary International District 2520

# 大河原ロータリークラブ会報

クラブ創立 1968年2月12日

2019~20年度

国際ロータリーテーマ

ロータリーは

世界をつなぐ



ROTARY CONNECTS THE WORLD

2019-20年度 RI会長

マーク・ダニエル・マローニー

2019-20年度 ガバナー

NO.1

例会日：毎週木曜日 12時30分 会長：藤江裕佳里 広報・ICO

例会場：和洋亭 ぶざん 副会長：甘糟 仁 委員長：佐藤能文

柴田郡大河原町字新南25-18 幹事：佐々木由美子 副委員長：岡崎 隆

TEL 0224-51-1113 副幹事：武者 昌洋 委員：庄司 大 鈴木 賢

事務所：〒989-1245 大河原町字新南25-18 TEL0224-86-5901 FAX0224-86-5905 info@rotary-ogawara.com

## 2019年7月4日(木)第2513回例会

### 会長あいさつ

### 会長 藤江 裕佳里



初めての会長挨拶をさせていただきます。2019~20年度の第52代会長を拝命致しました。

日本のロータリーが2020年で100周年を迎え大河原ロータリーも一昨年50周年の記念式典が開催された伝統ある歴史を引継ぎながら、「不易流行」の理念で新しい時代に必要な斬新な考えも取り入つつ一年間一生懸命務めさせていただきますので会員皆様の理解と、ご協力を賜りますよう宜しくお願い致します。

運営方針を一言だけ、お話し致します。今までの会長各位は、知力・体力・人望にも優れ強いリーダーシップで運営されて来たと思いますが、残念ながら私は、非力でございますので「シェアード・リーダーシップ」を提案致します。会員皆様が、それぞれ力を合わせてリーダーシップを発揮して運営していくこと、例えて言えば昨年度は、豪華客船の樽見丸に乗船し一年間の航海をしたと思うのですが、今年度は、各委員会ごとに船団を組み、その船団がまとまるよう幹事と力を合わせて一生懸命サポートさせていただきますが、会員の皆様が、一丸となって進んで行くような運営をして行きたいと思っております。

### 幹事報告

### 幹事 佐々木 由美子



- ① 菅野多利雄お別れの会の案内7月28日午前11時からホテルメトロポリタン仙台で行われます。
- ② 第15回、国際ロータリー日韓親善会議の案内が来ております。
- ③ エンドポリオチャリティゴルフコンペの案内です。9月8日に表蔵王ゴルフクラブで開催致します。
- ④ 第18回全国ロータリー囲碁大会の案内がきております。
- ⑤ 古川東ロータリークラブ創立40周年事業の、お知らせが来ております。
- ⑥ ただ今のレートは、1ドル108円となっております。

⑦ 吉田会計から、今年度会費の納入を、どうぞ宜しくお願いしますとの伝言でございます。

**米山BOXの報告 山家 正信 副委員長 8名 66,000円**

**スマイルBOXの報告 武者 昌洋 副幹事 20名 144,000円**

**出席の報告 津田 正行 委員長 会員数35名 27名の出席 77.14%**



新旧会長・幹事のバッチ交換です。  
樽見会員・丸山会員  
お疲れ様でした。



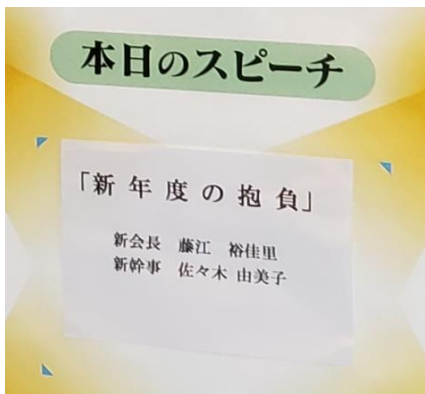
2018-19年度スマイルボックス  
ナンバーワン 八島 会員



2018-19年度米山奨学金  
ナンバーワン 森 会員



2019-20年度 祝 赤飯です。  
藤江会長の出航おめでとうございます。



## 会長 藤江 裕佳里

RI会長マーク・ダニエル・マローニーが今年度のRIテーマ「世界をつなぐ」提唱されました。ロータリーが発足して114年、日本ロータリーが発足して100年を迎え、つながりを広げ絆を深めて行こうと考えました。全員参加のクラブ運営をして行きたいと思います。一回一回の例会が「何か自分にとってプラスになるような例会であつたら良いなと思います」会員増強にも力を入れて行きます。人数が少ないと力にはなりません。

武藤委員長と会員皆様と力を合わせて頑張ってもらいたいです。世界や地区等いろいろ活動する機会がありますが、大河原ロータリーのクラブ活動を充実して行きたいと思います。その活動が世界に繋がって行くのではないかと思います。一年間に通常の例会は50回もあり、繋がりを持つ機会があります。1905年アメリカのシカゴでポール・ハリスは、人と人との繋がりを求めて会合を開き、その会合を持ち回りで開催したことでロータリーと名が付いたと聞いております。一人で出来ることは、限りがありますけれども繋がりの中で、お互いを知ることにより理解し愛する(親睦)と言うような繋がりができ、そのエネルギーを自分達の事でなく、廻りの地域社会さらに世界全体への繋がり、そこに廻りの人達の幸せを願ってロータリーの奉仕の動きが出来てきたのではないかと思います。

大河原ロータリーも親睦を深めお互いを理解し、そのエネルギーを自分の廻りに広めて行き、幸せな思いだったり、繋がりを継続するような活動を目指して行けたらと思います。

皆様それぞれの力を発揮してロータリー活動を楽しんで過ごして頂きたいと思います。佐々木幹事共々、一生懸命努力致しますので宜しくお願い致します。

## 幹事 佐々木 由美子

今年度幹事を仰せつかりました佐々木です。宜しくお願ひ致します。幹事を、どの様に受け止めたら良いのか会長の女房役だと聞いておりましたが、プライベートでも女房と言う言葉にアレルギーがあり違和感を感じておりました。考えがまとまるまで、時間が掛かりましたが、仏教の教えで「無財の七施」(むざいのしちせ)がありまして古い御経で『雑宝蔵経』(ぞうほうぞうきょう)に説かれておりまして日常生活で簡単に実践できる、人間性を磨くとゆうか仏様の生き方に近づく為にとか、ロータリーでは奉仕とありますが、奉仕を切り開いていくような教えです。

- 1.眼施(げんせ) やさしい眼差(まなざ)しで人に接する
- 2.和顔悦色施(わげんえつじきせ) にこやかな顔で接する
- 3.言辞施(ごんじせ) やさしい言葉で接する
- 4.身施(しんせ) 自分の身体でできることを奉仕する
- 5.心施(しんせ) 他のために心をくばる
- 6.床座施(しょうざせ) 席や場所を譲る
- 7.房舎施(ぼうじゃせ) 自分の家を提供する。招き入れる

今年度は、「無財の七施」の考え方に沿って大河原ロータリークラブの為に一步踏込んで行動させて頂きたいと思ひます。これが一つ目です。もうひとつ目は、今年度実践して結果に結び付けたいと

もうひとつ目は、今年度実践して結果に結び付けたいと思ひますが、欠席による食事の、お残しを是非減らして行きたいと思ひます。浄土真宗で食事の言葉と言うのがあります。その一番最初に、「多くの命と皆様のお陰により、この御馳走を恵まれました。」とありますが現在、日本の食の現状が、いかに無駄になっているかと言うと日本人一人当たり換算すると毎日お茶碗約一杯分136gが無駄に廃棄されているのであります。そこで手始めに7月プログラム案内ファクスを送信致しましたが、一番下の処に欠席なされる方は幹事にご連絡下さいと案内しております。

欠席した場合は、メイキャップで欠席を挽回出来るのですが、廃棄処分してしまった食事は、戻って来ませんので、そこのところをしっかりと受け止めて、実践していければと願っております。